

## 令和4年度熊取町医療介護ネットワーク連絡会活動実績報告について

### 【主なテーマ】

◎コロナ禍における困りごとについて

※第1回連絡会の時点では、1年間の主なテーマを「緊急時における医介連携について」としていたが、改めて検討委員会でテーマについて検討し、上記のテーマに決定した。

### 【取組内容】

#### 《第1回連絡会》 令和4年6月28日（火）

- 令和3年度医療介護ネットワーク連絡会の活動実績報告
- 令和4年度医療介護ネットワーク連絡会の事業計画（案）
- 3市3町医介連携マニュアル改訂版の内容について（情報共有）
- 災害シートの活用について
- 医療介護ガイドマップの更新について
- ・項目が多かったため、事務局からの説明で情報共有を行うにとどまった。

#### 《第2回連絡会》 令和4年10月18日（火）実施

- 「コロナ禍における困りごと」について、8月に事前アンケートを実施、課題を整理し、行政から困ったときの対応方法の情報提供を行うとともに、次の点について、多職種間でグループワークを行った。
  - ①新型コロナウイルス感染により、容態が急変した時、困ったこととその対応
  - ②日頃の業務の中で、新型コロナウイルス感染対策で困っていること、難しいと感じること

（グループワークで出た意見（一部））

- ・ケアマネ連絡会で、感染対策を事業所連絡会と合同でPPE着脱の研修をした。ヘルパーにも同様の研修をしてほしいと思っている。
- ・ヘルパーは現場での実践をイメージして具体的に研修することで、実際に現場でも構えずに対応できる。
- ・コロナ陽性者でも基本的には対応している。でも、同じ事業所内でもヘルパーによってはコロナ陽性者の訪問に行きたくないという場合がある。
- ・陽性者の対応は訪問看護のできるのだから、困ったときはまず訪問看護に相談してもらったらいいい。

#### 《第3回連絡会》 令和4年12月20日（火）実施

- 第2回連絡会と同様に、8月の事前アンケートの中で見えてきた次の点についてグループワークで意見交換を行った。
  - ③新型コロナウイルス感染対策等で面会できないときや連絡が取りにくいときなど、情報共有で困ったこととその対応

(グループワークで出た意見 (一部))

- ・利用者が退院する際の情報交換や共有が、コロナ前に比べてできていないように感じる。
- ・コロナ禍では退院前カンファは、キーパーソンやケアマネなど少人数で開催している。病院によっては、退院前カンファレンスを動画で省略するところがある。いただいた情報と退院時の状況が違うことがある。
- ・MCSは利用可能な状態にはなっているが、使い切れていない。情報共有はFAXを活用している。これからMCSを使っていこうと思う。
- ・MCSは医師会との連携で活用している。

#### 《第4回連絡会》 令和4年2月25日(土) 研修会の実施

- 8月の事前アンケートやグループワークの議論の中で、新型コロナウイルス感染対策で正しい知識の習得が必要と分かったため、新型コロナウイルス感染症をはじめ、感染症全般に関する対策について、基礎的なことも含めて研修を行った。
- ・講師：一般社団法人 日本感染管理支援協会 代表理事 土井 英史氏
  - ・参加者29名(会場21名、オンライン8名)

#### 《その他》 熊取町医療介護ガイドマップの更新

- 町内の医療機関や介護事業所等のご協力のもと、更新版を作成し、令和4年11月号広報と同時に全戸配布した。

#### 【今年度の取組を通じて、今後必要と思われることなど】

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、病床数が逼迫し、入院できない自宅療養者が出た経験から、緊急的な対応が必要な場合も多いので、平時から関係する多職種間の連携を密にしておくことの重要性を再認識した。
- ・利用者に関わる情報がスムーズに共有できるよう、ICTをはじめ、情報共有の手段を関係者間で決めておくことも大切。
- ・町としても、新型コロナウイルス感染症をはじめとする様々な感染症への対応について、必要に応じ、国や大阪府からの最新の情報がすぐに提供できるようにしていく。